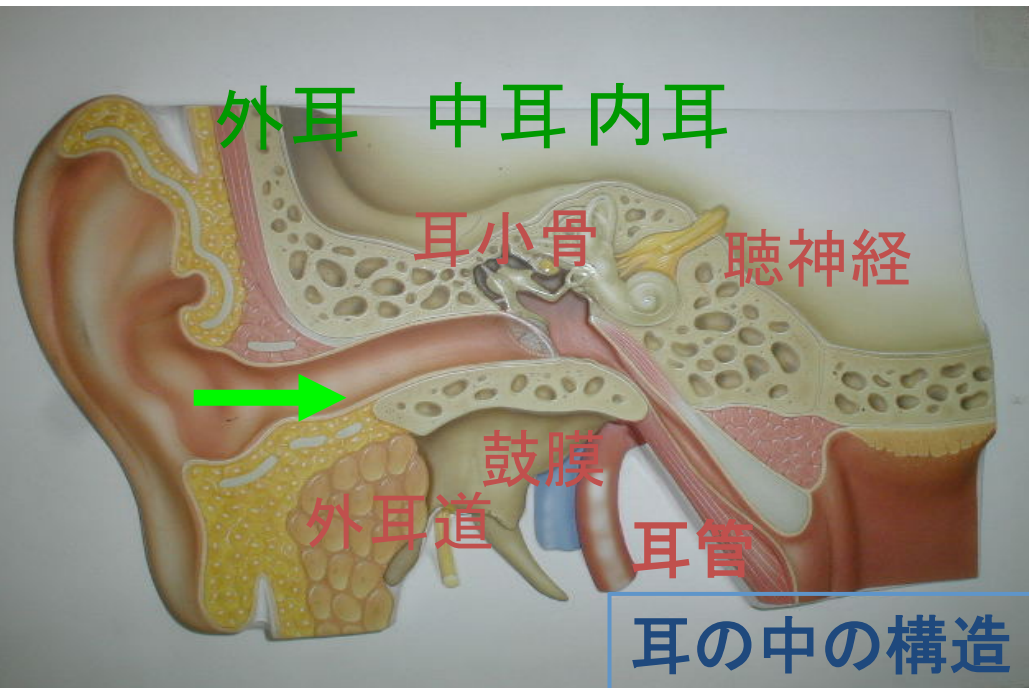


小児滲出性中耳炎について

小児滲出性中耳炎について

1. 耳の中はどうなっているの？
2. 小児滲出性中耳炎はどんな病気なの？
3. 滲出性中耳炎になると、どんな症状があるの？
4. 滲出性中耳炎になると、鼓膜はどうなるの？
5. 治療はどのようにするの？
6. どのようなことに気を付ければいいのか？

1. 耳の中はどうなっているの？



正常鼓膜(右側)



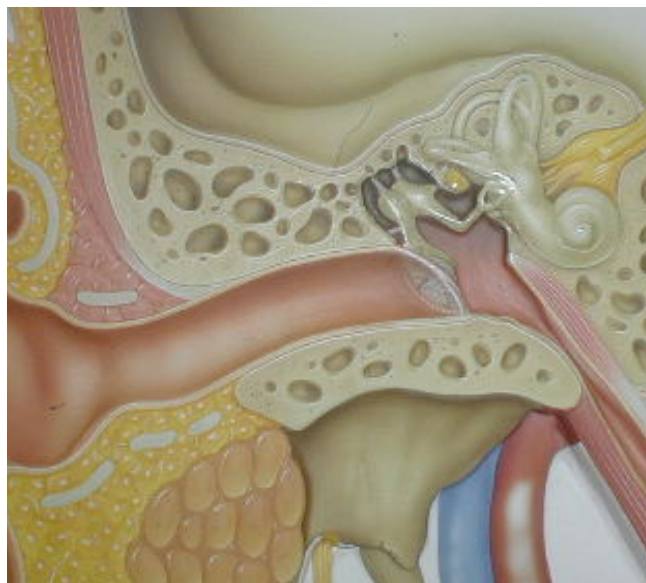
滲出性中耳炎

耳の中は、

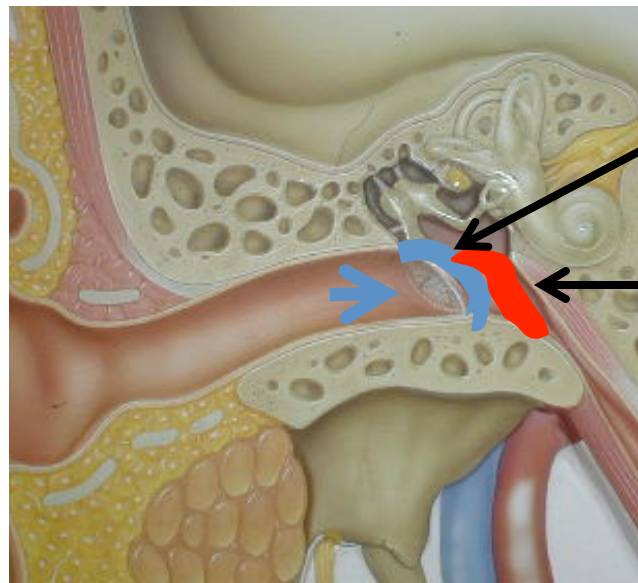
- 1) 鼓膜の手前の耳の中 (外耳)
- 2) 鼓膜とその奥の空洞 (中耳)
- 3) さらに奥で耳の神経の末端 (内耳) に分かれています

エレベーターで高い所に上った時に耳がつまったように感じるがありますが、唾を飲んだりするとよくなると思います 耳の奥(中耳)と鼻の奥は、**耳管**という管でつながっており、唾を飲んだ際に耳管が開くことで、中耳内の圧調整を行っています

2. 小児滲出性中耳炎はどんな病気なの？



正常



滲出性中耳炎

鼓膜の内陥

中耳内に
滲出液の貯留



耳と鼻の奥は「耳管」という管でつながっており、換気や圧調整を行っています。鼓膜の内側の「中耳」と呼ばれるところに、感染などにより慢性的な炎症（中耳炎）が起こり、液体（滲出液）がたまっている状態です

鼓膜の奥に液体がたまると、鼓膜の振動が悪くなり聞こえが悪くなってしまいます。風邪や、鼻副鼻腔炎、急性中耳炎などの後に「中耳」に炎症が起こると、中耳の圧力が下がり滲出液がたまりやすくなります

耳管や乳突蜂巣の状態がよければ、中耳炎や滲出液は自然に改善しますが、換気や圧調整がうまくいかないと、中耳内に滲出液がたまってしまいます

3. 滲出性中耳炎になると、どんな症状があるの？

鼓膜の奥の中耳に液体(滲出液)がたまるために、耳が塞がれたような感じ(耳閉感)や聞こえが悪く(難聴)なったりします

飛行機に乗ったり、高層ビルのエレベーターで一気に高いところに上がった時のことを想像してください 気圧の変化によって耳が詰まった感じになり少し聞こえにくくなりますが、唾を飲んだりする(嚥下)と耳管が開き圧調整をすることでこの耳の詰まりが取れると思います

「滲出性中耳炎」ではこの耳の詰まった感じがとれず、ずっと続いているような状態です

「急性中耳炎」と異なり、痛みや発熱といった症状はあまりありません

小さな子供さんでは、なんとなく不機嫌であったり、耳を触ったりする程度ですが、お母さんの呼びかけに対して反応が鈍くなったり、テレビの音を大きくするなど聞こえにくいような感じで気づくことがあります

小学生以上では、自分で聞こえの悪さを訴えることもありますが、小さな子供さんでは自分でうまく言えないために周りの人が注意してあげることが重要です

4. 滲出性中耳炎になると、鼓膜はどうなるの？

鼓膜の奥の中耳内の圧が低下し液体がたまってくると、鼓膜を透かして中に貯まった液体が透けて見えたり、鼓膜が内側に引っ込んだ状態となります
また、長い間液体がたまると、鼓膜が薄くなり、引っ込んだ鼓膜が奥の壁にくっついた状態になったりします

液体貯留：鼓膜を介して中にたまった液体が透けて見えます
液体のために鼓膜の振動が制限されて聞こえが悪くなります

鼓膜の陥凹：中耳の中の圧が低下することで、鼓膜が内側に引っ張られて引っ込んだようになります
このため鼓膜の振動を伝える耳小骨が飛び出したようにも見えます

鼓膜の菲薄化、接着：鼓膜全体が薄くなり、引っ込んだ鼓膜が内側の壁にくっつくこともあります



5. 治療はどのようにするの？

中等度以上の難聴や鼓膜の変化がなければ、発症から3か月以内は、自然に軽快する場合もあるため、検査や薬の治療をしつつ注意深く観察し経過を見ます

薬の治療では、粘液溶解薬の使用が勧められています また、アレルギー性鼻炎や、鼻副鼻腔炎などの鼻の病気を合併している場合が多く、そのために滲出性中耳炎が治りにくくなっていると思われるため、鼻の病気の治療を行います

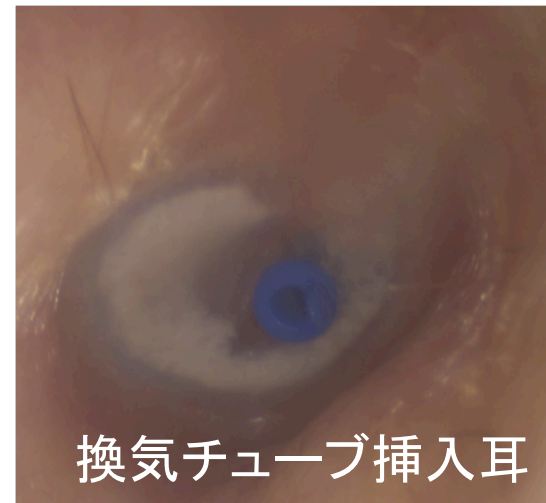
また、「耳管通気」といって、鼻から耳に空気を送って耳管を開かせることで、内に引っ込んだ鼓膜を元の位置に戻すようなことを行うこともあります

これらの治療を3か月以上行っても自然に治らない場合には、それ以上待っても治りにくいことが多いために、手術治療を行うことがあります

「鼓膜切開」といって、鼓膜に小さな穴をあけて中に貯まった液体を吸い出した後に「鼓膜換気チューブ留置術」といって鼓膜に小さなチューブを挿入します。

このチューブによって、中耳内の換気が改善され、中耳内に貯まった液体を出しやすくして炎症を抑えます

また、必要に応じてアデノイド切除を行うこともあります



換気チューブ挿入耳

6. どんなことに気を付ければいいのか？

小児の滲出性中耳炎の多くは、急性中耳炎をきっかけに見つかります
急性中耳炎は完全に治るまでしっかりと治療してください

滲出性中耳炎にかかりやすくなるきっかけとしては、風邪などの上気道炎、アレルギー性鼻炎や副鼻腔炎などがあります これらの治療をしっかりとして下さい

風邪などの後に、鼻閉や鼻汁が続く場合には、耳の病気を起こしていることもあるため、小さな子供さんでは聞こえ具合(テレビの音を大きくするなど)に注意してみてあげてください

集団保育や家族の喫煙など家庭に関連するものの中に治りを悪くするものがあるため注意してください

滲出性中耳炎でも難聴を起しますが、軽度か中等度のことが多いため、難聴の程度が強いときにはほかの原因がないか調べることも重要です